

狂犬やその他病毒の犠牲になる人類全體の悩みが、あり／＼に映じたのである。彼はその爲に、
ジヨゼフに對して狂犬病防止を試みる場合には、夜もねられず、ねても夢を見、それで自分自ら
が發熱した位であつた。彼れの發熱は、維摩居士が「衆生病めり、故に我れ病む」といつたと同
じ人類に對する慈悲同情の熱であつたのである。

バストウルは又眞に心情ある愛國者であつたが、彼れの愛した祖國は富國強兵のフランスでな
く、文化のフランス、科學藝術のフランスであつた。彼れの愛國心は、祖國 Patrie を通じて發露
した人道的精神であつた。——勿論國土の美、歴史の傳統、人民同胞の愛、國家の隆盛も、その
愛國心の中に存してはゐたが。

バストウルが人類に對する結合感、又弘く宇宙感といふべきものに結びつき、それには宗教
的信仰の背景もあつたが、科學者としてその事業の中に現はれてゐる。それは、眼に見えず、今
まで人の知らなかつた微生物の中に現はれ、又萬有の中に躍動する生命に對する透見的把柱であ
つて、後にフランス現代の哲學者ベルグソンが *élan vital* と稱した生き／＼した力に對する感じ
であつた。バストウルは先づこれを洞察し、而して觀察や實驗的確に之を捕へたのである。彼れ
が生命に關して自然發生説を闡つて微生物の世界を闡明したのは、この根本から出た結果である

バストウルが始めに研究した結晶に關する立體化學的方面も、醱酵に關する研究にも、而して醱
酵研究から續いて偉功を奏した微生物の研究にも、總て此生の躍動を捕へる洞察方法が具は
つてゐた。醱酵を以て死から生ずる現象だとする説に反して、彼が夫を生現象だとして着眼したの
は實にその一生の事業と共に、世界學術の上に新たな途を開き、深い基本を据ゑたもので、醱
酵の秘密を探り得る者は、生命と病との鍵を握る者だと言ふ豫言を實にしたのである。此の點に
於て、フランス人に通有の直覺洞察といふ天才的方面が著しく現はれてゐる。即ち新見地の開
拓、新眼界的開展、夫らが、少くも其初には直覺的に洞察の明として現はれて來たのである。
今まで、特に十七世紀から現代にかけて、フランスの科學者、藝術の天才が、人間の智識と生
命とに新に途を開いた實例は、今一々之を擧げないが、バストウルがその中の最大の一人たるこ
こは、何人にも異論はなからう。彼れの研究や事業には、その方法の正確なこゝ、目的の高尙で
あつたことを別にして、常に新見地の輝きがある。先に述べた結晶に關する研究は、バストウル
自身は之を大成はしなかつたが、實に物理的化學の源を開いた。醱酵の研究でも、單に化學的
變化として見る以上に生命の現象として着眼した所に、バストウルの新眼界がある。而して進ん
で微生物の發見となり、傳染病の豫防や治療の上に大革命を起したのも、その源は、この新見

地にあつた。炭疽病、産褥熱、狂犬病の現象も、バストウルの心には、ビールの醗酵や蠶の病氣なき一聯の生命結合として映じたので、今日では何人も此等の現象について、微生物の存在を知り、且之を眼に見ることも出来るが、バストウルが之に着眼し始めた時には、云はゞ人類の心に一つ新たな世界が湧き出したので、そのDarwinの生命現象は初はバストウルの直覺的洞察に映じた別世界であつた。彼は此の新世界の探検者又開拓者であつて、又その支配者になつたのである。

但し、いふまでもなく、バストウルは單に神秘的直觀の人でなく、又漠然たる觀念で満足した人でなく、その洞察に映じた生の躍動を的確に捕捉し、實驗で之を確めずには止まなかつた。此は科學者の態度として勿論必然の事であるが、フランス人の性格には、明晰、的確、精密を尊ぶといふ特色ある背景を忘れてはならぬ。

フランスの言語は *precis, net, exact* に長じた點で世界に秀で、流麗と共に明晰で、句切がよいと共に聯結がある。又フランス人が數學に長じて、數學の天才が多く、その間から出たのも、周知の事實であるが、バストウルは數學者ではなくとも、その仕事には數學的精緻が具はつてゐた。

バストウルは、その研究と共に、言論や文章にも、このフランス的特色を具へてゐた。ラダーの言を借りて云はゞ、

(その講義には)順序が立ち、明瞭で、觀念に纏まりがあり、又事實で觀念を確め、實驗方法を的確に示し、且つ將來の見込について熱情を發露し、それらが相合して、活き／＼した印象を與へた。……此の如くにして、何人も眞に人類の恩人たるべき三つの資格がバストウルに具はつてゐるのを見た。即ち天才の力量、性格の力、それと親切心と、此の三つである。

(バストウル傳、四二二頁)

バストウルが絶えず門人に與へた力は、概念の明確、方法の正確、暗示に富むた考案、助言、指導、激勵等で彼れの感化力は、實に天才的見地と科學的精緻との合一したものであつた。

科學者として天才と忍耐とを示したバストウルは、又先に述べた如く人間味の最も深い人であつた。彼は觀察、實驗、推理の生活を遂げる科學者は、又同時に感じの人間、傳統を承けた人間に近い小供の爲には泣き、死んだ人間にも尙不滅の生命あるを信する人間であることを説き、俄に科學の結果を以て人生を一律にしてはならぬと主張して居る。されば、先に述べた家族や師弟の關係以外、人類に對する愛情と、無限又は神靈に對する信仰とに於て、バストウルはフランス人

の精神的遺傳、公教的精神を美はしく具へてゐた。彼れは、人間の熱情が加はる所には、無限の開展があり、眼に見ぬ他の世界が開けることを主張して曰く、

「その上に又何があるか。人間の精神は、抑へきれない力に押されて、その上、その上に問題を進めて行く。その上に又何があるか。時間の中にも、空間の中にも、こゝで止まりこいふことが出来やうか。ここに止まりがあるとしても、それは罅目に外ならず、それは今までもあつたものよりも偉大ではあるが、又そこから別の展望が始まる處であつて、人間はそれ知らんぞ欲する所に向つて、問題を打ち切るものでない。……無限の存在、それを何人も無視することは出来ず、今までのあらゆる奇蹟やあらゆる宗教の中にも存しない不思議の盡きないことを見ざるを得ぬ。

「無限といふ念慮」此は何人も避け得ぬ處で、此あるが爲に、如何なる人も、その心の中に不思議を宿してゐる。神といふ觀念は、此の無限といふ觀念の一つのあらはれである。無限といふ神祕が人間の思想に蔽ひかかる限り、その無限に對する崇拜は、種々の殿堂になつて現はれ、或は梵天、アラハ、エホバ、又は耶穌といふ名の神靈に捧げられう。而して此等神殿の石壇には、どこまでも人間が跪き、身を屈して、無限といふ考への中に沈むのを見るに

違ひない。

……自分の中に一つ神靈、一つ美の理想を抱いて、之に服従する者は幸である。藝術の理想、科學の理想、祖國の理想、福音書にある徳の理想がそれであつて、其等は偉大な思想や偉大な事業の活きた源泉であり、それ等は、總て無限の反映を宿してゐる。(同上、四四二—四三頁)

此の偉大な科學者の心には、此の如くにしてフランス魂の理想信念が、その奥底の力となり外に輝く光輝となり、それが博愛の心にもなれば、又研究の精力もなつた。されば、バストウルが最後の病中、田舎で静養した時、心を潜めて専ら讀むたのは、聖ワンサン・ド・ポールの傳記であつた。ポールは、十七世紀に慈善教育に身を委ねて、男女修道者の團體を組織した聖者である。バストウルは此の聖者の生涯に精神を追慕仰し、此を以て吾が魂の安らいとしたのである。バストウルの科學上の事業、その無私の眞理探求に従事した一生、人道博愛の心を以て貴いた心事、此等は實に聖ポールの魂、フランス人の公教精神を近代的に復活したものであつた。

さればこそ、バストウルの精神は、フランス人の魂に徹して彼等を動かし、その研究所を建設

する計畫が發表せらるるや、人民は競うてその寄附に與り、零碎の金が集つて、彼の大研究所
 Insitut Pasteur が處々に出來た。十數年前、パリの大新聞が、フランスの生むだ偉人について、
 一般投票を募集した時、バストウルが、ナポレオンを超つて第一位を占めたのは、決して偶然で
 なす。

此に於て、バストウル自身の言を思ひ出さざるを得ない。曰く

La science et la paix triompheront de l'ignorance et de la guerre, et les peuples
 s'entendront non pour détruire mais pour édifier.

誠に然り、戦争に對する平和の勝利はまだ完全でないにしても、無知と戦争とに對して、科學
 は勝利を占めた。それにはバストウルの力が多かつたのである。而して、世界の人類は、此から
 益々破壊を棄て、建設に従事すべきである。バストウルは、科學者であると共に豫言者であつ
 た。

大恩人の類
 大恩人の類



第一版

大正十四年十二月十五日印刷
 大正十四年十二月二十五日出版

定價二圓八十錢

著者 マキシム・ブイサン

東京府下荏原郡入新井町不入斗一五二

發行者兼 波多野鐵五郎

東京市牛込區山吹町一九八

印刷所 大杉印刷所

發賣所

大阪府東區堂橋通二丁目四

高橋福音堂本店

發賣所

岸和田市筋海町

天主教會ブイサン

同

東京市神田區一橋通一六

三才社

同

長崎市南手町乙二番

大浦天主堂

同

長崎市南手町乙二番

大浦天主堂

出版書目

- 一、訂地 獄……第二版新刊……
〔價金八拾錢 郵税金六錢〕
地獄と煉獄を合せて御講求のおかたに二冊にて郵税も金壹圓五拾錢にてさしあげます
- 一、煉 獄……
〔價金七拾錢 郵税金六錢〕
- 一、外 傳 不思議のメダル……
二百餘頁寫眞聖畫七葉挿入
金壹圓五拾錢(郵税共) 銀製メダル一箇添付
- 一、實 踐 道 徳……卷一……
〔價金八拾錢 郵税金八錢〕
卷一、卷二を合せて御講求のお人にて二冊にて郵税も金壹圓五拾錢にてさしあげます
- 一、實 踐 道 徳……卷二……
〔價金八拾錢 郵税金八錢〕
- 一、眞 の 文 化……
〔價金貳拾錢 郵税金貳錢〕
- 一、人類の 大恩者 バストウル傳……
四百餘頁 寫眞二十葉入
〔定價金貳圓八拾錢(郵税拾貳錢)〕
- 一、十九世紀 科學界 開發者百五十名略傳……
百九十頁
〔定價金四拾錢(郵税六錢)〕

大阪府岸和田市筋海町 天主教公會

〒575 大阪府岸和田市筋海町一丁目

60
811

1915年3月18日

同	路	大	三	津	大	津	大	津

調查濟

終

